

◆ 今週のコメント

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が2例(10歳未満男性2例)(第18週追加報告分)ありました,ともに症状は腹痛等で,感染地域は国内です。本年の累積報告数は5例となりました。
発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については,下記URLを御参照ください。
○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- レジオネラ症(肺炎型)の報告が1例(50歳代男性)あり,症状は肺炎です。感染地域は国内で,感染経路は不明です。本年の累積報告数は2例となりました。
- アメーバ赤痢(腸管アメーバ症)の報告が1例(40歳代女性)(第18週追加報告分)ありました。症状は下痢,粘血便,しぶり腹,腹痛,発熱,腹膜炎です。感染地域は国内で,感染経路は不明です。本年の累積報告数は3例となりました。
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が1例(40歳代女性)(第18週追加報告分)あり,症状は尿路感染症,菌血症です。本年の累積報告数は8例となりました。
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症の報告が1例(40歳代女性)(第18週追加報告分)ありました。症状はショック,肝不全,腎不全,急性呼吸窮迫症候群,DICで,感染地域は国内です。本年の累積報告数は2例となりました。
- 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(40歳代男性)(第18週追加報告分)あり,症状は発熱,咳,肺炎,菌血症です。感染地域は国内で,感染経路は接触です。本年の累積報告数は15例となりました。
- 梅毒の報告が3例(20歳代男性2例及び50歳代男性1例)(第17週及び第18週追加報告分)ありました。いずれも症状は初期硬結等で,感染地域は国内,感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は21例となりました。

◆ 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を食い止めるため,令和2年4月16日,政府は全都道府県を緊急事態措置の対象とすることを発出し,特に京都府と12の都道府県を「特定警戒都道府県」と指定し,期限が5月31日まで延長されました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

(性別,年齢,症状,感染地域^{*},感染経路^{*}の順に掲載。)

- 二類:結核 2例(肺結核 1例,その他結核 1例,潜在性結核感染者 なし)うち喀痰塗抹陽性 1例
【1月以降の累積報告数 81例(肺結核 46例,その他結核 7例,潜在性結核感染者 28例)うち喀痰塗抹陽性 20例】
- 三類:腸管出血性大腸菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 5例】
- 四類:レジオネラ症 1例【1月以降の累積報告数 2例】
- 五類:アメーバ赤痢 1例【1月以降の累積報告数 3例】
- 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 8例】
- 五類:劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 2例】
- 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 15例】
- 五類:梅毒 3例【1月以降の累積報告数 21例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69,小児科定点43,眼科定点10,基幹定点1)

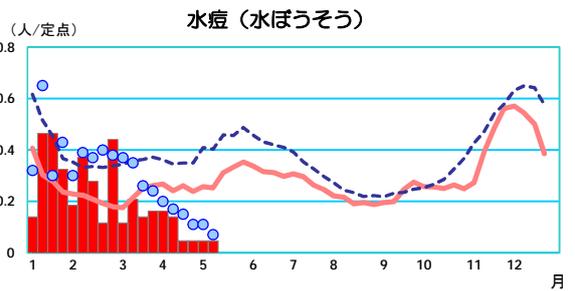
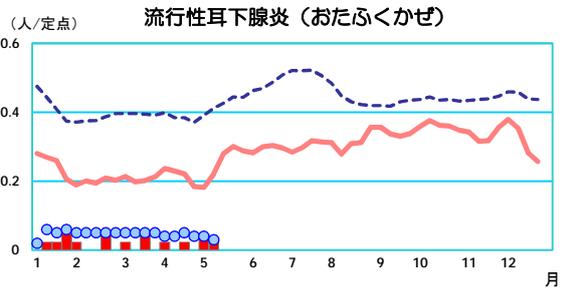
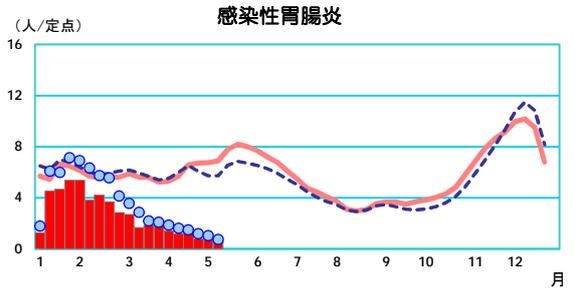
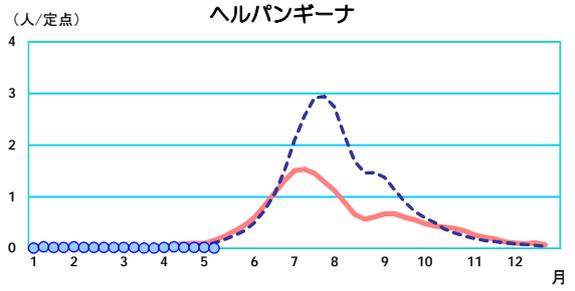
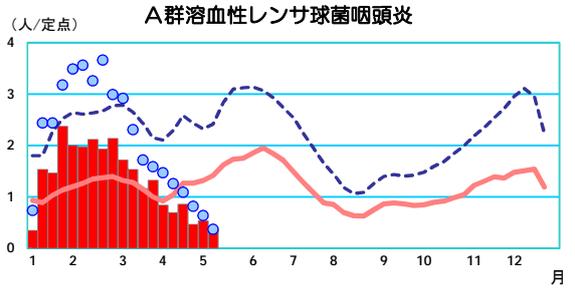
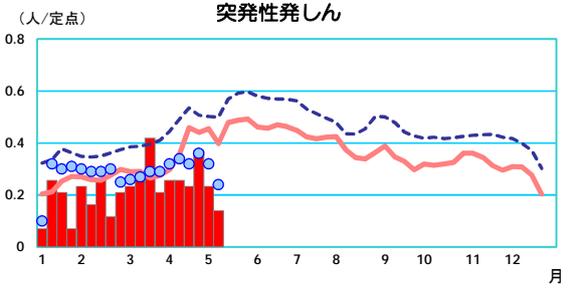
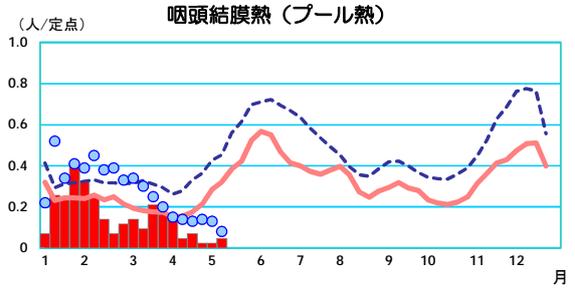
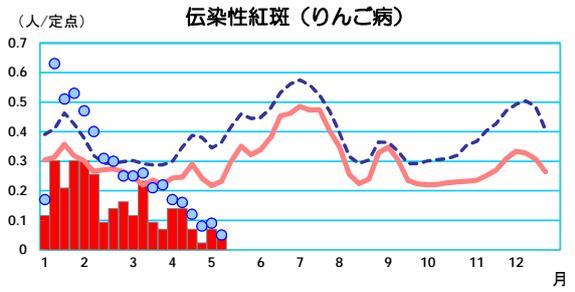
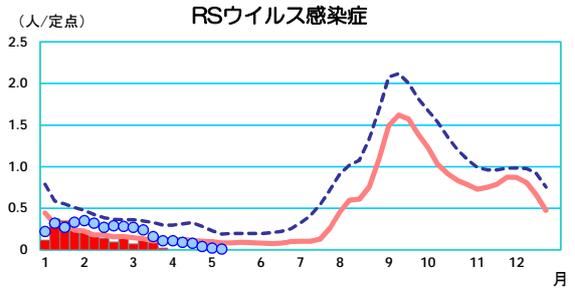
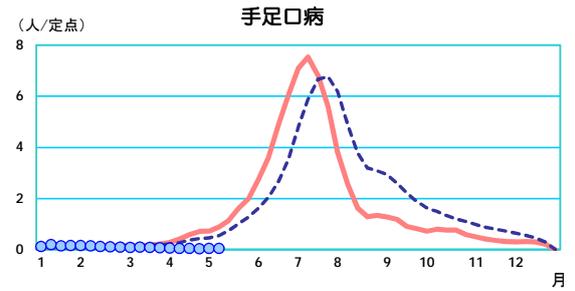
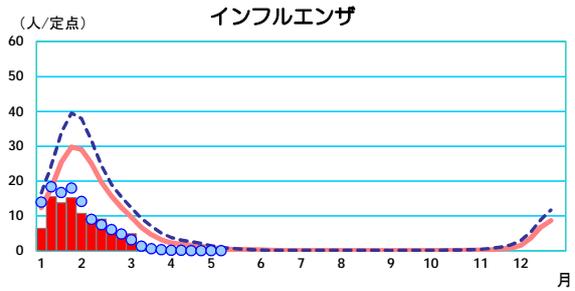
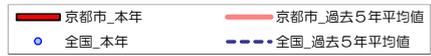
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ ^a	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	0.58	25
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.37	16
	③ 突発性発しん	0.14	6
	④ 手足口病	0.09	4
	⑤ 咽頭結膜熱	0.05	2
	⑤ 水痘	0.05	2
	⑤ 伝染性紅斑	0.05	2
眼科	流行性角結膜炎	0.00	0

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>
付表(疾病,行政区別報告数 / 年齢階級,疾病別報告数 / 週,疾病別報告数)

(注)京都市のデータは,2020年5月13日現在の報告数で,全国の還元データと若干異なる場合があります。
また,本情報での患者数は,届出医療機関所在地での集計で,患者の住所を示すものではありません。
^{*}感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2020年）



第19週(5月4日～5月10日)トピックス: <新型コロナウイルス感染症>

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を食い止めるため、令和2年4月16日、政府は全都道府県を緊急事態措置の対象とすることを発出し、特に京都府と12の都道府県を「特定警戒都道府県」と指定し、期限が5月31日まで延長されました。

今般5月14日に、政府は、自粛により感染拡大に一定の歯止めがかかっているとして、39県について期限を前倒して、緊急事態宣言を解除すると発表しました。京都府は大阪府に隣接しているため「特定警戒都道府県」として継続することとなっています。

ただし京都府では先に独自の休業要請緩和「京都モデル」として下記の4つの基準条件を示していました。そしてゴールデンウィーク以降はこの基準を達成し続けているとして、大阪府や兵庫県と連携し、休業要請していた大部分の業種について緩和を発表しました。スポーツジムやライブハウス、接待を伴う飲食業など集団感染が起きやすい一部の業種では継続して休業要請をしています。

休業要請緩和「京都モデル」

4つの条件を7日連続でクリアしていれば休業要請が一部解除となる

- (1) 新規陽性者が5人未満
- (2) 感染経路の不明者が2人未満
- (3) PCR検査の陽性率が7%未満
- (4) 重症者の病床の利用率が20%未満

しかしながら今後基準を逸したり、再流行が起こると再度の自粛要請となります。今後も感染予防対策を徹底してください。

「かからない」「うつさない」ためには以下の対策が必要です。

○「密集・密閉・密接」のいわゆる「三密」を避けるようにしてください。

○手洗いが重要です。外出先から帰宅時や調理の前後、食事の前などにこまめに石けんと流水で手を洗いましょう。

○新型コロナウイルスに限らず、病原体は主に口・鼻・目から体に入ります。口・鼻・目に触る前に手洗いを徹底しましょう。

○咳をする場合には口や鼻をティッシュで覆うなど、咳エチケットを守りましょう。急に咳が出てしまう時は、しぶきが飛ばないように服の袖や肘を使いましょう。

○発熱、せき等の症状で受診したいときは、直接行かずに、まず電話でかかりつけ医等に相談してください。



密集回避 密室回避 密接回避



京都市では下記センター及び専用電話相談窓口を開設しています。

●帰国者・接触者相談センター

●新型コロナウイルス感染症専用電話相談窓口

1. 専用電話番号：075-222-3421

(電話番号は共通です)

2. 受付時間：土・日・祝日を含む24時間

○息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合

○重症化しやすい*方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合

<相談の目安> (※)高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患(COPD等)等の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方

○上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合

参考情報

○厚生労働省では、新型コロナウイルス感染症に関する情報を掲載しています。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

○京都市では、新型コロナウイルス感染症の最新の動向を提供しています。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第19週

疾病,行政区別報告数

2020年5月4日～2020年5月10日

データ入手日:2020年5月13日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	4	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	1	9	3	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伏見	-	-	1	-	10	-	3	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	-	2	16	25	2	4	2	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	-	0.67	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	-	-	0.25	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	0.33	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	3.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	0.80	-	-	-	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	0.33	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	0.20	1.80	0.60	0.20	-	0.20	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伏見	-	-	0.14	-	1.43	-	0.43	-	0.29	-	0.14	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	-	0.20	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	-	0.05	0.37	0.58	0.05	0.09	0.05	0.14	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第19週

年齢階級, 疾病別報告数

2020年5月4日～2020年5月10日

データ入手日:2020年5月13日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上							
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		16	-	-	-	1	2	3	3	1	3	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		25	-	-	4	2	4	2	1	1	1	-	-	3	3	4	-	-	-	-	-	-	-
水痘		2	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		4	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		6	-	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上							
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.05	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.37	-	-	-	0.02	0.05	0.07	0.07	0.02	0.07	-	0.02	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		0.58	-	-	0.09	0.05	0.09	0.05	0.02	0.02	0.02	-	-	0.07	0.07	0.09	-	-	-	-	-	-	-
水痘		0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.09	-	-	0.05	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.05	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.14	-	0.09	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第19週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2020年5月13日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	32	12	2	2	1	-
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	6	2	3	1	1	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	36	30	37	20	23	16
感染性胃腸炎	61	52	64	35	30	25
水痘	7	6	2	2	2	2
手足口病	1	1	2	3	1	4
伝染性紅斑	6	6	3	1	3	2
突発性発しん	11	11	10	16	10	6
ヘルパンギーナ	-	-	-	1	-	-
流行性耳下腺炎	1	-	1	-	2	1
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	2	2	2	1	-
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	162	122	126	83	74	58

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	0.46	0.17	0.03	0.03	0.01	-
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	0.14	0.05	0.07	0.02	0.02	0.05
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.84	0.70	0.86	0.47	0.53	0.37
感染性胃腸炎	1.42	1.21	1.49	0.81	0.70	0.58
水痘	0.16	0.14	0.05	0.05	0.05	0.05
手足口病	0.02	0.02	0.05	0.07	0.02	0.09
伝染性紅斑	0.14	0.14	0.07	0.02	0.07	0.05
突発性発しん	0.26	0.26	0.23	0.37	0.23	0.14
ヘルパンギーナ	-	-	-	0.02	-	-
流行性耳下腺炎	0.02	-	0.02	-	0.05	0.02
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.10	0.20	0.20	0.20	0.10	-
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	3.56	2.89	3.07	2.07	1.79	1.35

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。